

第64回 富士見祭 Power of Smile



去る10月26日(土)・27日(日)に第64回富士見祭が開催されました。令和1回目の富士見祭のテーマは「Power of Smile」でした。先生方をはじめ各部活動や団体と協力し、なんとか無事に成功させることができました。去年に引き続きスタンプラリーの実施や装飾に力を入れて、とにかく楽しい雰囲気を出せるよう意識しました。日曜日に行われたお笑いライブでは満席には惜しくも届きませんでしたが、僕が経験した富士見祭の中で一番盛り上がったと感じています。今回、実行委員長を経験し50人を超える学生会をまとめ、引っ張っていくことは簡単なことではありませんでした。仲間と協力し、一つのことを成し遂げたというこの経験は、僕の一生の財産になると思います。連綿と受け継がれてきた伝統を引き継ぎ、日本歯科大学富士見祭に富士見祭実行委員長として携われたことを大きな誇りに感じます。最後になりましたが、第64回富士見祭をサポートくださった学内と校友会の先生方や学生部の方々、スポンサー、近隣の皆様に感謝申し上げます。



生命歯学部4年 新井悠一郎

学生短信 N-Cafe アングルの企画運営



新 潟キャンパスに昨年12月にオープンしたN-Cafe アングル(エヌ-カフェ アングル)は、学生が主体となって活動する国内唯一の歯科大学併設認知症カフェです。

開催は月一回で、講師をお呼びして認知症について学んだり、管理栄養士さんの手を借りて、お菓子作りをしたりと様々な企画を考え、参加者の皆さんと楽しく活動しています。

私はカフェに参加していくうちに、高齢の方たちと話すことへの緊張がなくなり、自然に楽しくお話ができるようになったと思います。普段、同年代の友人と会話をする中では得られない知識を教えていただけるのも魅力です。また、認知症の方、ご家族、多職種の方と交流できる機会は多くないので、この活動を将来に役立てていきたいです。



新潟生命歯学部3年 川名葉子

校友会入会オリエンテーション

東京



校友会入会オリエンテーションが11月14日(木)に生命歯学部で開催され、約100名の6年生が参加しました。オリエンテーションは内田秀彰校友会常務理事の司会により進行し、まず橋本博之副会長による挨拶、校友会の紹介を井川淳一常務理事が行ないました。この説明を国家試験等の準備で忙しい6年生も熱心に聞き、多くの学生が入会申込書を提出しました。

新潟



12月12日(木)に新潟生命歯学部で6年生対象の校友会入会オリエンテーションが開催されました。藤井学部長より、国家試験に向けての心構えと自分の将来のために、校友会に入会してほしいとの挨拶があり、歯学会渡邊会長より挨拶と歯学会の説明、宮川常務理事より校友会の説明がありました。最後に入会希望者に入会用紙を記入していただき、散会となりました。出席者全員が入会希望でした。その後、本部役員と学生との懇話会が開催されました。

校友会主催ポストグラデュエート・コース

— んにちは、校友会です。

私たちは校友会員に向けた卒業研修も開催しております。今回はそのうちの一つ、ポストグラデュエート・コースについてご紹介させていただきます。こちらは毎回参加していただいた先生方から大変好評をいただいております、そのニーズの高まりから今年度は4コースと例年より1コース多く開催しました。

コースの1例をご紹介します。一般歯科臨床ではなじみが薄くなってしまいがちな「口腔外科・インプラントコース」では、模型を用いた切開・縫合の基本手技の練習からインプラント埋入手術、豚顎骨を用いたGBR等を、多くの動画を示しながら受講者2人につき1名のインストラクターがついて指導した充実の2日間コースでありました。

いずれのコースも、座学と実習を交えながらの実践的内容であり、参加された会員の先生方には臨床に役立つ様々な情報を提供できたのではないかと感じています。また、今年度はポストグラデュエート・コースに初めて参加していただいた若い世代の会員が多く、インストラクターとは顔なじみであることもしばしばで、そんな雰囲気の中、新しい知識や技術の習得、基本の再確認に役立つとの声を多くいただきました。今後も会員のニーズに沿ったコース展開を予定しています。学生諸君の卒業後の参加を楽しみにしております！



国家試験体験記

国試合格に向けた6年間の過ごし方

私は3月に大学を卒業し、4月から日本歯科大学附属病院で臨床研修歯科医をしています。今回私が6年間どのように過ごしてきたかをお話することで、少しでもこれから国家試験を受ける方の役に立つことができれば幸いです。

6年間で私が一番心がけていたのは、習ったその時にできるだけ覚えてしまうということでした。基礎系・臨床系の科目問わず2,3,4年生で習った時にまとめのノートを作ったり単語帳を作ったりしたことで、5,6年生で繰り返し学習したときに苦手

なところやわずかに変わったものを補完していくだけで済みまし、仮に忘れてしまっても自分で作ったノートを見ることで、限られた時間の中でも効率よく思い出すことができました。特に臨床系の科目については、基礎系の科目同様4年生までの座学や基礎実習で身につけた知識を、5年生の臨床実習で実際の患者さんに触れながら、先生がいま何をしていて次に何をするのかといったように、今までの点の状態だった知識を一連の流れで定着させていきました。そして6年生で最後の仕上げとして教科書を読みながら自分の知識に問題がないかチェックしていきました。

国試の過去問については、私自身問題を解きながらのほうが知識を定着させやすかったのもあり、5年生になってから少

しずつ取り入れていきました。特に直近3年分については時間を計りながら解いていきました。模試についても知識の確認だけでなく時間配分を知るという点でも有用だったと感じています。

またもう一つ、6年間を通して重要だと感じたのは、自分の勉強スタイルを確立できているかということです。特に6年生になってから自分のペースで進められるかが鍵になってくると思うので、一人でorみんなと、学校or家などいろいろな形がありますが、自分にとって何が一番いいかを早めに見つけてもらえればと思います。

最後になりますが、皆さんの国家試験合格を心よりお祈りしています。



附属病院
臨床研修歯科医
秋山 洋
(108回)

第5学年特別講義

Tokyo 令和元年10月31日(木) 18:00～

場所：牛込ホール
 講師：石黒智彦先生(99回)
 演題：歯科医師国家試験の現状と対策



麻布デンタルアカデミー講師の石黒智彦先生による特別講演「歯科医師国家試験の現状と対策」が開催されました。

講演タイトルにあるとおり、歯科医師国家試験のシステムや合格率の推移、各領域の対策に関して非常にわかりやすく、ときにユーモアも交えて解説していただきました。

約1年半後に国家試験を迎える身として、「この科目はどうやって勉強すればいいんだろう」「今のままの勉強方法でいいのかな」と迷いが出てきた中でこのようなお話を伺うことができ、今後の勉強方針を立てる上で大変参考になりました。また実際の診療で見聞きすることが国家試験対策に直結するとのことで、自分の病院実習に対する姿勢を見直すきっかけにもなりました。

今回の講義の内容を心に留め、まずは残り半年を切った病院実習を精一杯頑張りたいと思います。このたびは貴重な講演をありがとうございました。

生命歯学部5年 渡辺尚子



Niigata 令和元年12月12日(木) 13:00～

場所：112教室
 講師：石黒智彦先生(99回)
 演題：歯科医師国家試験の現状と対策



今回の石黒先生の特別講義を拝聴し、自分のすべき勉強の方向性が見え、勉強に対する意志が強くなりました。出題科目、領域に合わせた計画を立てることで「いつまでに、この科目を勉強しよう」という今までの漠然とした計画に具体性を持たせることができました。

石黒先生は「病院実習がとにかく大事だ」とおっしゃっていました。予備校の先生の口からその言葉を聞くと少し驚きましたが、それだけ実際に大切なことであると感じました。その理由としては、視覚的なイメージを持つことができるからだと思います。私たち5学年は4月から病院実習を始めているので、私自身その効果を感じる事が多くあります。膨大な知識とその応用力を問われる国家試験に立ち向かうには、このような土台を作り上げ準備することが欠かせないのだと改めて認識することができました。

第112回歯科医師国家試験の本学の新卒の合格率は93.9%と非常に高く、卒業できれば大抵の場合、合格できるという現状です。つまり現在の本学の方針のもとに頑張っていけば、おのずと結果が付いてくるともいえます。石黒先生は「周りのアドバイスを聞かずに我流を貫く人は成績に伸び悩み負けパターンの一つだ」ともおっしゃっていました。やはり合格への近道は、周囲と力を合わせることなのだろうと思いました。これからの厳しい戦いを勝ち抜いていくことを目標に、自分自身の心が折れないよう、強い覚悟で国家試験に一発合格を目指したいです。

新潟生命歯学部5年 伴 圭介



東京 図書館2F 漫画コーナー

当館に漫画コーナーがあるのをご存じでしょうか。普段は2階にひっそりと置かれています。1月の図書館企画展示「漫画あります!」で現在カウンター横にて紹介しています。昭和の香り漂う少女マンガや「ブラックジャックによろしく」など、多くが寄贈されたものです。試験期間中ではありますが、ちょっとした息抜きにいかがでしょうか。

●図書館開館情報

開館情報は右記QRコードから閲覧ください。



新潟 スマホで学ぼう! 歯科診療の補助コンプリートBOOK

著者：竹之内茜 他

出版社：一世出版 出版年：2019 請求記号：D2.9-T 登録番号：000138767

歯科治療の一連の流れ、使用する器材や共同動作をスマートフォンで動画を見ながら学習できるようにした図書です。器材は写真で確認することもできます。確認問題も掲載されているので、臨床実習前や国家試験の勉強にも役立つ歯科衛生教育関係の一冊です。

●図書館開館情報

年末年始の閉館 12月27日(金)～1月5日(日)
 土曜日閉館 2月22日(土)～4月4日(土)
 平日の開館時間変更(9:00～17:00) 3月2日(月)～4月3日(金)

図書館からの推薦図書

日本歯科大学校友会 Limited Attendance Seminar

学術フォーラム 2020

令和2年3月15日(日) 日本歯科大学 生命歯学部 3F・7F, 記念館3F

講演	講師
講演1 13:30講演 9:30～11:10 歯床が痛くなるペリオの教養	生命歯学部 口腔科学講座 関野 倫
講演2 13:30講演 9:30～11:10 周術期って何? はじめよう周術期口腔管理!	生命歯学部 口腔科学講座 関野 倫
講演3 13:30講演 11:20～13:00 周術期(部分)矯正は簡単なのか? それとも、難しいのか?	歯科大学病院 矯正歯科 第二診療科 池田 哲也 新潟県立 矯正歯科 富下 渉
講演4 13:30講演 13:20～15:00 エンドの診療・診断 ～その治療に迷いはありませんか?～	新潟県立 矯正歯科 田中 浩祐
講演5 13:30講演 13:20～15:00 日常臨床における「口腔癌」の見分け方 ～診断と治療～	生命歯学部 口腔科学講座 望見 貴史
講演6 13:30講演 15:10～16:50 顎位は舌骨の位置で左右されている	日本歯科大学 丸茂 義二
講演7 13:30講演 15:10～16:50 その新着の教材、読んでいます! ～今、術後感染予防で何をどう使うか～	生命歯学部 口腔科学講座 松野 智宣
講演8 13:30講演 9:30～11:10 (定員21名) 知っておきたいIT/デジタルトランスフォーメーションのトランスフォーメーション	新潟県立 歯科工務 竹井 潤
講演9 13:30講演 13:20～15:00 (定員20名) 100歳時代にも大切な総歯補綴の基本	新潟県立 歯科 上塚 正
講演10 13:30講演 15:10～16:50 (定員30名) ビギナーのための歯科用CBCT講座 ～正しい三次元画像の撮り方と撮影手順の習得～	生命歯学部 歯科放射線学講座 河合 泰輔
講演11 13:30講演 12:00～13:00 「歯周病口腔ケア用口腔健康評価ツール」について	生命歯学部 歯科放射線学講座 井川 淳一

●ミニデジタルショー: 9:00～17:00 3F 132講演・134講演 ●カフェコーナー、校友会ブース 3階 133講演

詳細は校友会ホームページを参照してください。右記QRコードから校友会ホームページにアクセスできます。

※学生の皆様は無料で参加できます。



埼玉県人会開催の報告

令和元年10月10日(木)に池袋サンシャイン60内の『ジョーズ シャンハイ ニューヨーク』にて埼玉県人会を開催いたしました。校友会からは渡辺 裕先生(68回)、栗山 聡先生(70回)、大井 了先生(71回)、山崎 裕司先生(74回)、若山 努先生(78回)、学内からは小川 智久先生をはじめ、他3名の先生方に出席していただきました。在学生会は12名参加し、総勢21名の県人会となりました。



はじめに渡辺先生と小川先生から開会のご挨拶をいただき、乾杯のご発声を栗山先生よりいただきました。夜景が一望できる59階の中華料理店では、雰囲気がとても良く、会話も弾み、より一層先生方との親睦を深めることができました。記念撮影を行ったのち、打ち解けた雰囲気の中、多くの先生方と二次会へ移動し、遅くまで楽しい時間を過ごすことができました。

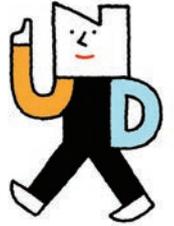
5年生となり、病院実習に励む立場になってから何う先生方のお話は、とても興味深いものばかりで、私たち学生にとって大変貴重な時間となりました。これからも埼玉県人会が盛大に開催されますことを心よりお祈り申し上げます。

最後に、校友会ならびにお忙しい中、ご出席いただきました先生方に深く感謝申し上げます。

生命歯学部5年 岩瀬 柚香



Enjoy KOYU Times!



KOYU Quiz

Q. この医療機器はどれでしょうか?

- a...CT
- b...MRI
- c...PET
- d...LINAC
- e...SPECT



この医療機器は放射線治療に用いられる。放射線加速器の装置で、放射線を発生させる装置を口腔癌の放射線治療に用いる。

こうゆう先輩 第19回

ハマれるもの ありますか?

医療法人社団
HEALTH & SMILE
おくやまデンタルクリニック
奥山 宜明 (89回)



ラグビー日本代表、初の決勝トーナメント進出!!! 予選プール1位通過!!!

ラグビーにハマっている自分はもちろん、初めてラグビーを観た方々にも感動を与えたラグビーワールドカップ(RWC)。

歯学部は職業訓練校の要素が強く、課外活動を行うことが難しい状況にあるといえます。国試に合格し晴れて歯科医師になって喜ぶのもつかの間、歯科医師になってやっとスタートラインに立ちます。学生時代はもちろん、歯科医師として明るい人生を進んでほしいものです。

高校から大学、クラブチームと楕円形の

ボールと関わって29年。母校の日本歯科大学ラグビー部監督も14年。学生時代だけでなく医局員時代も勤務医時代も先輩に恵まれ、歯科治療とプライベート以外にラグビーに関わる時間をいただいて過ごしてきました。開業後は、スタッフの協力のもとラグビーやスポーツに関わることを継続しております。

現在、所属している東京Dr.'sは医歯薬OBチーム。教授や准教授、地区の会長や、対戦相手だった医師・歯科医師が、同じ仲間として大学や学年の垣根を超えての交流があります。関西や九州にもチームがあり定期戦も行っています。

このチームメイトと8年前のRWC2011 NZに観戦に行った際、前哨戦である国会議員ワールドカップに参加する機会を得、試合観戦以外にも試合やレセプションなど貴重な体験をすること



ができました。RWC2015 Englandを経て、今年はRWC2019 JAPAN!! 両大会でも、国会議員ワールドカップをはじめ、レセプションにも参加。今年は、ワールドカップのマッチドクターとして歯科医師として関わることができました。最高に楽しい!!!!

日々の研鑽、臨床は大切ですが、自分が人生を楽しめていないとつまらないし、スタッフや患者さんに本気で優しく接することは難しいと思います。医療人として、人間として温かみのある人間でなければ人は集まらないものです。

何か、ハマれるものがあると人生は楽しい!!!!

校友の 歴史の重さ 手渡して 頼むぞ後輩 母校の未来 伝統を 守ってゆきます 我々も 富士見・浜浦 熱き心で

